

事務事業名		さのし建築景観賞表彰事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	都市建設部	担当課	都市計画課	
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり						担当係	計画係	担当課長名	越石 彰		
	施策	1 都市機能を高める幹線道路の整備と計画的な地域づくりの推進						新規事業・継続事業	継続事業				
	基本事業	3 良好な景観の保全と形成						実施計画事業・一般事業	一般事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名	市単独事業・国県補助事業	市単独事業					
	10831	一般	8	4	1	さのし建築景観賞表彰事業	任意的事業・義務的事業	任意的事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	18年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市水と緑と万葉のまち景観条例、さのし水と緑と万葉のまち景観賞実施要領	実施方法	直営					
							事業分類	その他市民に対する事業					
							リーディングプロジェクト	該当なし					
							市長マニフェスト	該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
・市民のまちづくりに対する意識の高揚と建築活動の活性化を図ることを目的とし、都市景観の形成、歴史、文化の創造及び建築水準の向上等に寄与すると認められ、特にまちの美観や景観に配慮した建築物等やまちなみ及びまちづくり活動を表彰する。			・平成26年11月22日に佐野駅前イルミネーション点灯式のイベント内で表彰式を開催した。 ＊応募総数:13件(まちなみ建築部門9件、まちづくり活動部門4件) ＊景観賞受賞作品:7作品(まちなみ建築部門3件、まちづくり活動部門4件)							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			応募数	件	16	13	25	25	25	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
・市内に建築された建築物等や地域の美しい景観の保全や創造等景観づくりに係る活動等について、建築主等・設計者・施行者並びに景観づくりの個人・団体等を表彰する。			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			人口	人	123,182	122,582	122,582	122,582	122,582	
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
・景観に配慮した良質な建築物等の増加 ・景観に関心のある市民の増加			講演会等の参加者数	人	2,105	3,720	700	750	800	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
市民の景観に関する意識を高める。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			景観啓発イベントの参加人数	人	-	3,720	700	750	800	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	180	202	516	516	516			
	事業費計(A)	千円	180	202	516	516	516			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			委員報酬	68	委員報酬	69	委員報酬	190	委員報酬	190
			報償物資費	65	報償物資費	39	報償物資費	95	報償物資費	95
費用弁償			3	費用弁償	3	費用弁償	13	費用弁償	13	
消耗品費			1	消耗品費	12	消耗品費	32	消耗品費	32	
食糧費			7	食糧費	7	食糧費	10	食糧費	10	
印刷製本費			36	印刷製本費	74	印刷製本費	176	印刷製本費	176	
人件費	人	3	3	3	3	3				
のべ業務時間	時間	100	100	100	100	100				
人件費計(B)	千円	389	394	394	394	394				
トータルコスト(A)+(B)	千円	569	596	910	910	910				

事務事業名	さのし建築景観賞表彰事業	担当部	都市建設部	担当課	都市計画課	担当係	計画係
-------	--------------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成16年に栃木県景観条例が施行され、景観形成に対する取組みが始まった。</li> <li>本市は、平成21年3月31日に景観法に基づく景観行政団体となり、地域の特色を活かした、魅力ある景観に関するまちづくりを進めていくことができるようになった。</li> </ul>
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>景観法が施行されたことにより、法に基づく景観条例の制定に取組む自治体が増えている。</li> <li>また、市民や事業者の景観に対する意識や関心も高まっていくものと考える。(平成24年4月1日より佐野市景観計画及び条例が施行となる。)</li> </ul>
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>議会や都市計画審議会において、本市の特色を活かした景観計画の策定を目指すべきとの意見が寄せられていた。</li> </ul>

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史と自然を活かした特色ある景観の保全・創出のためには、建築する建物等や美しい景観の保全など景観への配慮は必要であり、政策である「住みやすい快適なまちづくり」に結びつくと考える。</li> </ul>
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 <ul style="list-style-type: none"> <li>良質な景観や建築物を民間で積極的に創造する事業は行われていないため、先導的に行う必要がある。</li> </ul>
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 <ul style="list-style-type: none"> <li>より良い景観形成は、市民の理解と協力がなくては成り立たないものである。したがって、市民の意識の啓発が景観行政を進めていく上で特に重要なものとなる。</li> </ul>
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 <ul style="list-style-type: none"> <li>応募の率としては、ある程度あると考える。</li> </ul>
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業があり統合・連携できる・している	理由・改善案 類似事務事業名   景観啓発推進事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>佐野市景観計画及び条例の施行により、市民の景観に対する関心を高めるとともに、景観を守り、育てていく環境を醸成するための啓発活動と連携を図っている。</li> </ul> * 類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 <ul style="list-style-type: none"> <li>景観計画及び条例を実行していくために、景観形成の浸透を図っている段階であり、事業費・人件費の削減は難しい。</li> </ul>
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 <ul style="list-style-type: none"> <li>市民の景観に対する意識啓発と建築活動の活性化を図ることが本事業の目的で、受益者は特定されない市民である。</li> </ul>
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	魅力ある景観の創出のためにも、今後とも建築物等及びまちづくり活動の表彰制度は必要と考える。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			